

(様式 1)

令和 4 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県五福公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市五福

3 施設設置年度
昭和33 年度

4 設置目的
昭和33年に初めて富山県で開催された国民体育大会にあわせて整備された運動公園

5 施設概要
敷地面積：15.6ha
主な施設
・ 県営富山野球場：19,700㎡ 収容人数20,000人
・ 陸上競技場：26,600㎡ 400mトラック 8 コース
・ 野球広場：20,800㎡ コート数 2 面
・ スポーツ広場：12,100㎡ クレイ舗装

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
177,200	166,004	73,176	95,233	130,796

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
5,235	5,251	3,519	3,756	3,658

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
5,179	5,227	5,275	5,275	4,357

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和3年度比137.3% (35,563人増)、有料公園施設の料金収入は令和3年度比97.4% (98千円減)であった。
・9月に富山アラートの終了が発表されたことで、外出制限もなく例年通りに利用されたことから、利用者数は増加したが、陸上競技場が日本陸連第2種公認検定を受けるために一定期間使用休止となったため、利用料金収入が減少した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・サクラライトアップ、富山大学生によるアカペラLIVE及びジャズLIVE、五福公園まちなかまつり、イチョウ並木のライトアップを実施した。
・幅広い年齢層の利用を促進するため、令和3年度からハンギングバスケット体験会及び楽しい寄せ植え教室を開催した。
・富山県のわがまち・わがみち事業に登録し、県道富山高岡線沿いの歩道清掃、大型プランター9基及び中型プランター25基を季節の花々を植栽した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。
・陸上競技場個人利用の4時間利用単位を導入した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	①はじめてのハンギングバスケット体験会（4月24日） ②五福公園まちなかまつり（7月2日～3日） ③楽しい寄せ植え教室（11月6日）
回答者数	①28人 ②73人 ③28人
結果	①、③主婦層が多く、ほとんどが富山市内の方だった。 ②ファミリー層の参加が中心で、ほとんどが富山市内の方だった。
結果を踏まえた改善事項	令和5年度も引き続き参加者に楽しんでいただけるよう努める。

② その他利用者の声を反映させる取組み

例年、当公園を利用する競技団体等から意見を徴する「五福公園運営会議」を開催しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和3年度に引き続き書面会議とした。

③ 主な苦情と対応

・駐車場に無断駐車している学生が多い。⇒大学へ引き続きの学生指導を依頼した。
・トスバッティング中のこぼれ球が生垣を超えている。⇒主催者に注意をするとともに、子供が集まる付近での練習を禁止にした。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

公園に隣接する鴨嶋町の生産組合と共同で排水路の清掃を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無 回数(有の場合)

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・「まちなかまつり」の開催や、桜・イチョウ並木のライトアップなど、利用促進及びサービス向上に取り組む姿勢が見られる。
・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、コストバランスも考慮しつつ、利用者の安全を最優先に優先順位をつけて計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。
・今後とも、アンケート調査等による利用者ニーズの把握を行うとともに、合宿の誘致や様々な行事での利用を含め、積極的なPRや情報発信の方法の工夫などに努めてもらいたい。